



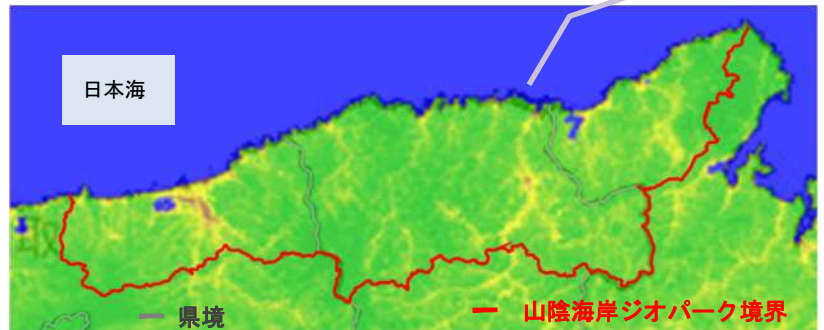
今年も、猛暑・酷暑・そして残暑が厳しい夏となりました。海の中の生きものを観察するには、海水浴も兼ねて暑い夏が楽しいですね。太陽と海がキラキラとまぶしい季節から落ち着きを増すこれからの季節、浜辺や海岸沿いにある森の生きものたちの痕跡に目を向けてみませんか。

山陰海岸ジオパークの森の生きものたち

緑が濃くなるほど植物の量や活力が高いことを表しています！

はじめに山陰海岸ジオパークのおさらいです。

東は京都府京丹後市、西は鳥取県鳥取市青谷町まで東西 120 km、南北も最大でなんと 30km にもおよびます。右のジオパークの地図を見て、何かお気づきになりましたか？緑色は植物を表しています。実は、山陰“海岸”ジオパークとはいえ、ジオパーク内は森林が占める割合が最も多いのです！ ということで、今回は、森に着目し、そこに生きる動物たちを身近に感じてほしいと思います。



国土地理院 全国植生指数データより抜粋

1. ずっと昔の生きものたち ～ タイムスタンプリップしてみましよう ～

はるか昔、人類が誕生する前にはどんな動物がこの大地に住んでいたのでしょうか？恐竜がいた頃、日本列島はユーラシア大陸の一部でした。その後、2500 万年前頃から大陸が割れはじめました。割れ目には水が溜まり、沼や池、湖となりました。そして、そこには動物たちが、水やエサ等をもとめてこの水辺にやってくるようになります。この水辺にやってきた動物たちは未来にとあるプレゼントを残してくれました。それは足跡です！

山陰海岸ジオパーク内の兵庫県香美町には動物の足跡の化石がたくさん発見されています。確認できた動物は5種類です。動物によって足跡は様々で見分けることができます。今でも馴染みのあるシカの他に、なんとゾウやサイ、ワニまでが生息していました。ツルなどの大きな鳥の足跡も発見されています。

気候も現在とは違い、暖かったことがわかりますね。余談ですが、この時にできた水辺が広がり日本海が生まれ、大陸と別れた大地が日本列島の土台の一部となりました。また、2018 年には鳥取県ではじめて哺乳類の足跡化石が発見されました。偶然の重なりにより奇跡的に化石となりますが、そのなかでも足跡は、なかなか発見されにくい化石です。

当館には香美町のレプリカ標本がありますので、是非、足をお運びください。ちなみに鳥取県立博物館では8/25(日)まで鳥取で初めて発掘されたシカ足跡化石の本物が展示をされています。



2. 今の生きものたち

それでは、現在はどうかでしょうか。現在の山陰海岸ジオパーク内にももちろんヒト以外の動物たちが生息しています。ゾウやサイはもういませんが、動物たちは森林をすみかにヒトの目を避け、ときにはヒトの生活に寄り添いながら生きています。そして、時おり動物たちは、その生活の一部を垣間見せてくれます。

海岸沿いの遊歩道でもテンなどのフンをよく見かけます。何を食べているのでしょうかね。甘くておいしい木の実？砂浜では直線的なモデル歩きのキツネの足跡が見られます。狩りにでも来たのでしょうか？森の動物たちも海岸にエサなどを求めて下りてきています。また、2018年5月には鳥取砂丘にツキノワグマの足跡が確認され話題になりましたね。山が近いことを実感する出来事のひとつでした。海岸沿いの当館では、イノシシやサル、テンの目撃情報を耳にします。日中にシカが敷地内を歩いていたこともあります。アナグマが交通事故に合い、可哀そうに死んでいたこともありました。

このように森に棲む動物たちも海岸そして海岸に続く遊歩道や道路を利用しています。山陰海岸の特徴のひとつは、山が急斜面で海岸線まで迫っていることです。そして、森の動物たちと海を結んでいます。

これからの季節、浜辺を散歩しながら、動物の置き土産を探してみませんか？そして、私たちの隣人(動物)の生活に思いをはせてみましょう。(笠木)



イベント紹介

海岸の動物探偵になろう！

～ 浜辺に足跡を残したのは誰？ このウンチは誰の？ ～

日時：9月15日(日) 9:30～12:00

集合：山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館

定員：先着20名

申込：9/1(日)から(電話のみ 0857-73-1445 9:00～17:00)

準備：帽子、長袖、長靴や運動靴、軍手、飲み物、(タオル、筆記用具、虫よけなど)

野外で足跡を探して、追跡したり、動物の種類を見分けましょう!!